

もっといっしょに。

120周年
2018年 創刊120周年

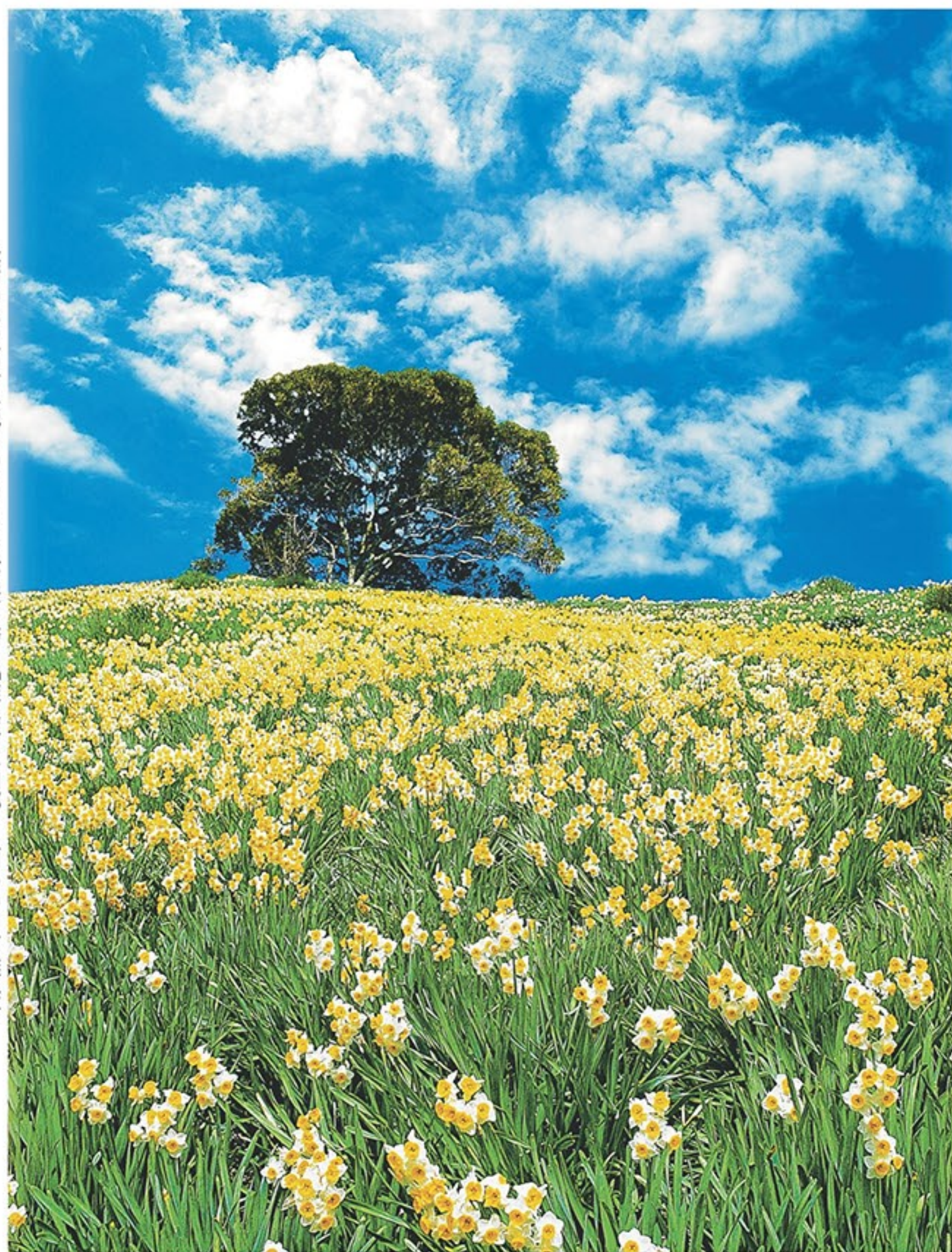
ひょうご五国撮り旅

斜面一面 白い花500万本

南あわじ市の「灘黒岩水仙郷」は、日本水仙三大群生地のひとつです。江戸時代、付近の漁師が海岸に漂着したスイセンの球根を山に植えたのが起源とされています。現在、淡路島南部に位置する島内最高峰鶴鷗羽山系から大阪湾に向かって広がる急傾斜地約7畝に約500万本が群生しています。同郷の開園時期は12月下旬から翌年2月下旬まで。最盛期には一重咲きの二ホンスイセンの白い花が斜面を覆い、一帯は甘い芳香に包まれます。急傾斜の同水仙郷は狭い道を登り下りしながら巡ります。咲き誇るスイセンを間近で鑑賞でき、兵庫県最南端・沼島の眺望もできます。晴天に恵まれれば、青色に染まった空と海を遠くに望み、目の前に広がるスイセンの白いじゅうたん。ひと足早い春の気配を、カメラで切り取ってください。



灘黒岩水仙郷



快晴の冬空の下、純白のスイセンが咲き誇る「灘黒岩水仙郷」＝南あわじ市灘黒岩

明石海峡大橋

「明石海峡大橋」は、神戸市と淡路島の間を明石海峡に架かる世界最大のつり橋です。橋長3911メートル、中間支柱間長1991メートル。88年5月、現地工事に着手。95年1月の阪神・淡路大震災を経て98年4月に無事、開通しました。今回は海から大迫力の「明石海峡大橋」に接近し、島にも向かいます。淡路島にいくつか残る国生み神話に登場する「おのころ島」との伝承があり、近年、パワースポットとして人気を集めています。



「世界最大」を仰ぎ見て



高速船から仰ぎ見ると違う顔となる明石海峡大橋＝淡路市・岩屋港沖

渦潮との共演を狙って

もうひとつの大橋は、兵庫県南あわじ市と徳島県鳴門市の間にある鳴門海峡を結ぶつり橋「大鳴門橋」です。1976年に着工、85年完成。橋長1629メートル、中間支柱間長876メートル。鳴門の渦潮に影響を与えないよう橋脚は、特殊な多柱基礎工法が採用されています。また同橋は87年、国の「日本の道100選」に選ばれました。瀬戸内海国立公園および名勝に指定された鳴門海峡にふさわしい景観が理由だそうです。撮影場所には、渦潮に最も近い「道の駅うずしお」も用意しました。「大鳴門橋」だけでなく、干潮、満潮のタイミングが合えば、壮大な渦潮を実感できます。また、淡路島土産の品ぞろえが豊富な「道の駅」での買い物も楽しめます。



大鳴門橋



「道の駅うずしお」から望む大鳴門橋と鳴門海峡＝南あわじ市福良内

酒仕込みの現場 間近に

淡路市で1875(明治8)年に創業、島内では飲めない地酒の蔵元です。手作りにこだわり伝統の技を守りながら醸し続けています。見学当日は仕込みの真っ最中です。運がよければ、酒造りの現場を垣間見ることが出来るかもしれません。また試飲では最高級酒米の「山田錦」を使った大吟醸や純米酒などの試飲、販売なども行います。



漁師町に合ううまい酒を手作りにこだわって醸す千年一酒造＝淡路市久留麻



千年一酒造



南淡温泉と海の幸が楽しめる「休暇村南淡路」＝南あわじ市福良内

●休暇村南淡路
季節の食材満喫
ランチバイキング

全国でも人気が高い休暇村にあげられる。四季折々の季節料理と、南淡温泉が魅力となっている。昼食は、ランチバイキングで写真Ⅱで旬の食材を好きなだけ楽しんでもらいます。また施設内の温泉施設「潮騒の湯」で眼下に広がる鳴門海峡を見ながらくつろぎのひとときをお過ごしいただけます。



第5回 淡路 1月23、25日

プロが写真術手ほどき

神戸新聞創刊120周年を記念して兵庫県内を巡る日帰り撮影バスツアー「ひょうご五国撮り旅 第5回淡路編」を1月23、25日に実施します。今回のテーマは「灘黒岩水仙郷と二つの大橋」です。見どころを迎える「灘黒岩水仙郷」、世界最長のつり橋「明石海峡大橋」と国の「日本の道100選」に選ばれた「大鳴門橋」を撮影します。このほか淡路市の地酒「千年一」の蔵元「千年一酒造」などを巡ります。

同ツアーはミントクラブと神戸新聞旅行社の合同で開催する年間企画。毎回神戸新聞社のカメラマンを講師に迎えた写真撮影旅行です。

第5回は「灘黒岩水仙郷と二つの大橋」です。「花の島、淡路島を代表する「灘黒岩水仙郷」は日本有数のスイセン群生地のひとつとして知られています。真冬に咲くスイセンの美しさは、淡路島の風物詩となっています。観光客だけでなく、写真愛好家にも人気のスポットです。

「二つの大橋」は淡路島を本州と四国につなぐ「明石海峡大橋」と「大鳴門橋」です。「明石海峡大橋」は、明石市・明石港と淡路市・岩屋港を結ぶ高速船「淡路ジェノバライン」から撮影します。同橋の下をくぐる航路で、迫力のある写真が期待できます。

「大鳴門橋」は、淡路島南端の「道の駅うずしお」から撮影します。眼下に広がる壮大な鳴門海峡の渦潮も絶好の被写体となります。

昼食は南あわじ市の「休暇村南淡路」でバイキングを用意。また鳴門海峡と福良港を眺めながら南淡温泉にゆったりとつかっていただきます。

最後は淡路市の蔵元「千年一酒造」を見学。寒仕込みの作業風景のほか、試飲や買い物を楽しんでいただきます。

実施日

2019年1月23日(水)、25日(金)

旅程

- 1月23日神戸発(8時)、明石発(8時50分)
- 1月25日姫路発(7時20分)、加古川発(8時)
- 明石港発ジェノバライン約13分乗船→岩屋港着
- 絵島(撮影スポット)
- 灘黒岩水仙郷(撮影スポット)
- 休暇村南淡路
- 昼食・入浴
- 道の駅うずしお(撮影スポット)
- 展望台見学・お買い物
- 千年一酒造
- 案内付きで蔵見学・試飲・お買い物
- 各地着(17時40分～18時20分)
- *帰着は予定時刻であり交通状況により前後する場合があります。ご了承ください。

旅行代金

9980円(大人ひとりさま)
*ミントクラブ会員は当日、車中で会員証を提示すると200円のキャッシュバックがあります。

受け付け・問い合わせ

神戸新聞旅行社
☎078・362・7174
9時半～17時半(日・祝休み)